

フェーズフリー（備えない防災）について

校長 黒澤 一慶

本日、令和8年度1学期が終了しました。保護者や七生福祉園の職員の皆様には、学習の積み重ねを通してお子さまの成長を感じていただいたのではないかと考えております。日々のご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、昨年この時期に標題の「フェーズフリー」について取り上げましたが、今回改めてお伝えいたします。聞きなれない言葉ですが、言い換えると「日常時と非常時を区別せずに、普段使い慣れているものを非常時にも役立つようにする」という考え方のことです。例えば、防災対策として非常持ち出し袋を準備されているご家庭が多いと思いますが、普段からその非常持ち出し袋を活用し、日常と非常時の境目をなくすことで、いざという時も普段の生活を大きく変えずに済むというメリットがあります。

今、多発する地震のために落ち着いて生活することができていない地域の方々がおられます。報道からもその大変さが見てとれ、他人事とは思えないと感じているのは私だけではないと思います。早く平穏な日常に戻ることを願っています。地震が多く発生する日本において防災対策は一人一人が取り組むべき必須のことです。まだ先の話にはなりますが、9月1日は防災の日です。この機会に家庭等における防災対策を見直してみてもいいのではないでしょうか。

明日から長い夏季休業に入ります。猛暑の日が続くことが予想されますが、生活リズムを崩さず、普段できない経験を計画的に取り組んでみるなど、児童・生徒にとって充実した日々になることを願っています。そして、2学期に元気な姿で会えることを楽しみにしています。

～高め合おう！総合的な基礎体力や運動能力の向上～

今年度の学校経営計画では、重点目標に「児童・生徒の総合的な基礎体力や運動能力の向上」を設定し、【体力・運動能力向上プロジェクト】を立ち上げ取り組んでいきます。

現状からみる課題

日常生活における身体活動の不足や運動機会の減少により、一人一人の実態に応じて運動機会を充実させ、基礎体力の向上と継続的な運動習慣の定着を図る必要があると考えました。

学校での取り組み

【体力・運動能力向上プロジェクト】を立ち上げ、全校で共通の目標をもち、運動などの活動に取り組める環境を作ります。

体育の授業や学校生活全体を通して運動に取り組む機会を確保し、児童・生徒の体力向上を推進していきます。そのことをとおして、児童・生徒の基礎体力の向上を図り、一日を元気に過ごし、自分の体を十分に使って学習活動に活発に取り組む姿を目指します。

東京都教育委員会の取り組み

「総合的な子供の基礎体力向上方策（第4次推進計画）」〔TOKYO ACTIVE PLAN for students〕は、子供たちの体力向上と運動習慣の定着を図り、生涯にわたって健康的に運動やスポーツに親しむ力を育成するための計画です。

（主幹教諭 外川卓）